

第2期美郷町保健事業実施計画 (データヘルス計画)

令和4年度評価



令和5年12月
美郷町国民健康保険

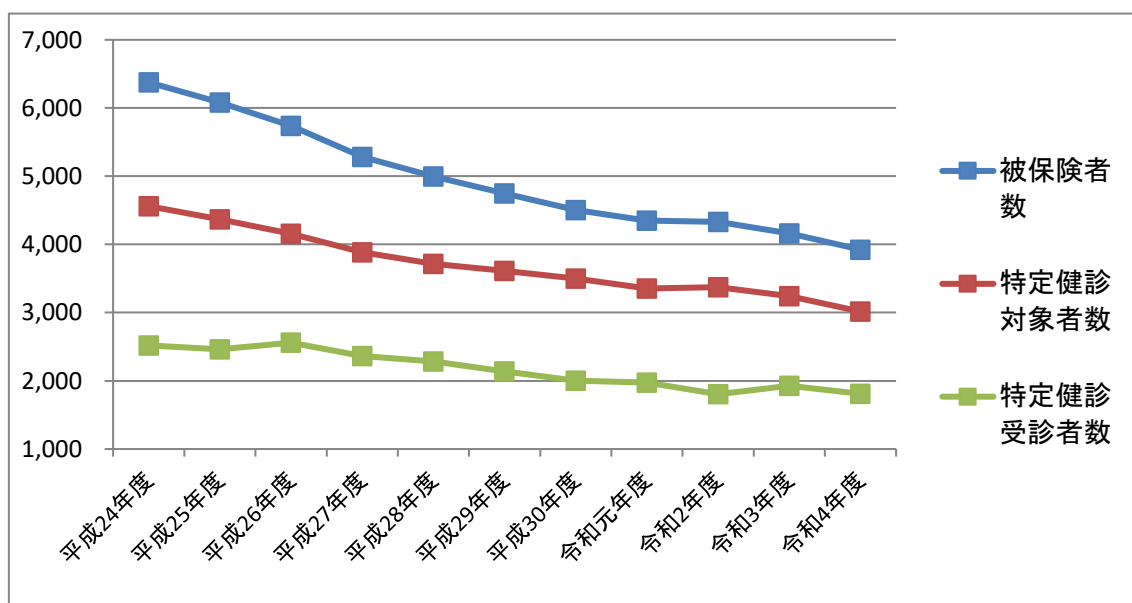
第2期美郷町保健事業実施計画（データヘルス計画）の評価について

データヘルス計画とは、特定健康診査（以下、特定健診）や医療データ等を活用し、地域の健康課題を明確にしたうえで、効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業実施計画である。生活習慣病対策をはじめ、被保険者の健康増進、糖尿病等の発症や重症化予防のため、保健事業を実施し、毎年評価を行うものとする。

1. 美郷町国民健康保険の被保険者数・特定健診対象者数の推移

平成24年度から令和4年度までの美郷町国民健康保険年度平均被保険者数、特定健診対象者数、特定健診受診者数は下記のとおりである。

年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
被保険者数	6,376	6,081	5,739	5,284	4,997	4,749
特定健診対象者数	4,561	4,370	4,158	3,884	3,716	3,613
特定健診受診者数	2,519	2,462	2,559	2,366	2,286	2,139
年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
被保険者数	4,506	4,351	4,330	4,162	3,924	
特定健診対象者数	3,498	3,354	3,375	3,241	3,017	
特定健診受診者数	2,004	1,973	1,804	1,926	1,812	



国保の被保険者数は年々減少傾向にある。令和2年度はそれほど減少しなかったものの、令和3年度から再び減少傾向となった。平成24年度から令和4年度にかけて、被保険者数は約38.5%減少し、それに伴い特定健診対象者数も減少している。

2. 特定健診の受診率

特定健康診査等実施計画第2期、第3期において、特定健診受診率の目標値を下記のとおり定めている。令和4年度までの目標値と実施率は次のとおりである。

特定健診受診率

年 度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
目標値	61.0%	62.0%	63.0%	64.0%	65.0%
受診率	54.3%	62.0%	58.1%	56.9%	55.3%
年 度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	58.0%	58.5%	59.0%	59.5%	60.0%
受診率	56.3%	61.4%	60.7%	61.3%	59.2%
年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	61.0%	61.0%	61.5%	61.5%	62.5%
受診率	57.3%	58.8%	53.6%	59.5%	60.0%

出典：法定報告（秋田県取りまとめ）

平成26年度から平成28年度まで受診率は60%以上で推移していたが、ここ数年は受診率が低下しており、目標値を下回っている。特に令和2年度は新型コロナウイルス感染症流行のため、受診率は大きく低下した。

しかし、令和3年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの受診率が大きく改善し、令和4年度は60.0%（県内25市町村中3位）となった。

3. 特定保健指導実施率

特定健康診査等実施計画第2期、第3期において、特定保健指導実施率の目標値を下記のとおり定めている。令和4年度までの目標値と実施率は次のとおりである。

特定保健指導実施率

年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
目標値	25.0%	30.0%	35.0%	40.0%	45.0%
実施率	0.0%	3.1%	12.7%	2.4%	18.7%

年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	25.0%	45.0%	50.0%	55.0%	60.0%
実施率	26.6%	35.2%	47.7%	42.0%	41.2%

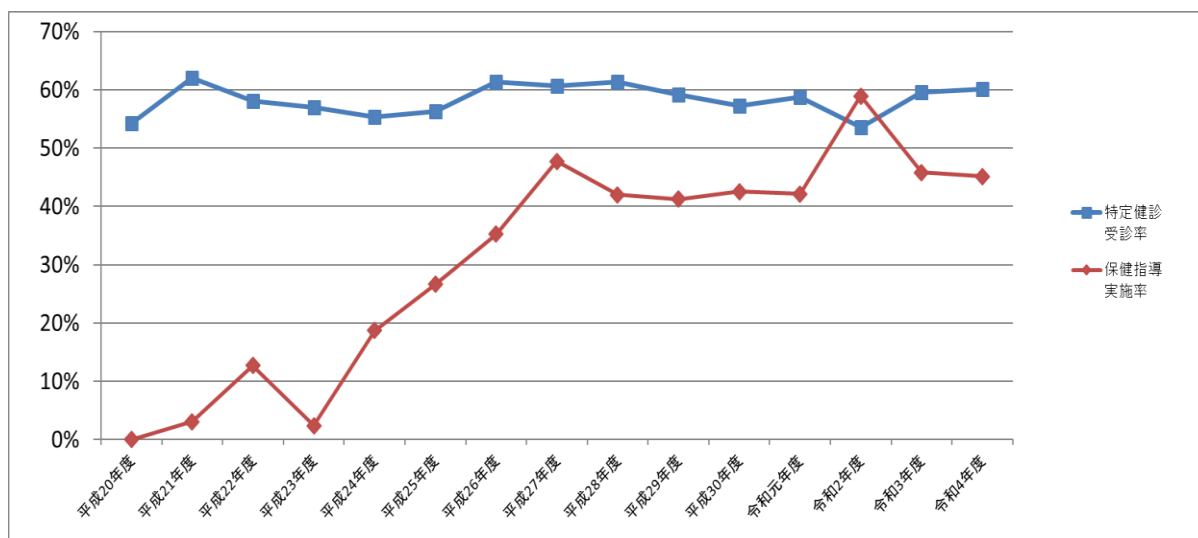
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	46.0%	47.0%	48.0%	49.0%	50.0%
実施率	42.5%	42.1%	58.9%	45.8%	45.6%

出典：法定報告（秋田県取りまとめ）

平成25年度以降、目標値を達成できないことが続いていたが、令和2年度は目標値を大きく超える結果となった。令和4年度は目標を達成できなかったものの、実施率は45.1%と県平均16.9%に比べ高い水準にある。

なお、美郷町は県内25市町村中2位の実施率となっている。

特定健診受診率と特定保健指導実施率の推移



4. メタボリックシンドローム（メタボ）該当者・予備群該当者の経年変化

平成26年度～令和4年度の特定健診受診者のうち、メタボ該当者、メタボ予備群該当者の状況は下記のとおりである。なお、割合は特定健診受診者に占めるメタボ該当者、予備群該当者の割合である。

男性	該当者		予備群	
	人数	割合	人数	割合
平成26年度	351	27.8%	240	19.0%
平成27年度	354	31.0%	197	17.3%
平成28年度	342	29.9%	213	18.6%
平成29年度	331	31.2%	165	15.6%
平成30年度	293	29.7%	174	17.7%
令和元年度	306	32.0%	173	18.1%
令和2年度	287	31.8%	142	15.7%
令和3年度	313	32.3%	160	16.5%
令和4年度	291	31.8%	163	17.8%

女性	該当者		予備群	
	人数	割合	人数	割合
平成26年度	170	13.1%	96	7.4%
平成27年度	143	11.7%	87	7.1%
平成28年度	145	12.7%	68	6.0%
平成29年度	128	11.9%	71	6.6%
平成30年度	126	12.4%	65	6.4%
令和元年度	126	12.4%	71	7.0%
令和2年度	113	12.5%	45	5.0%
令和3年度	116	12.1%	63	6.6%
令和4年度	112	12.5%	53	5.9%

出典：国保データベースシステム

※メタボリックシンドローム（メタボ）とは、腹囲が基準以上（男性85cm、女性90cm）で、高血圧・高血糖・高脂血症などが複合した状態のこと。メタボを放置すると、動脈硬化、脳卒中や心臓病など重大な病気につながる可能性が高まる。

男性の特定健診受診者のうち、メタボ該当もしくは予備群該当割合は5割前後で、多少変動はあるもののほぼ横ばいで推移している。また、女性の特定健診受診者のうち、およそ2割がメタボ該当もしくは予備群該当となっている。平成26年度から令和

4年度にかけて、メタボ該当率及び予備群該当率に大きな変化はなく、ほぼ横ばいで推移している。

5. 生活習慣の状況

平成26年度～令和4年度の特定健診受診者の生活習慣を比較する。

	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
喫煙	442	17.3%	400	16.9%	398	17.4%	361	16.9%	339	16.9%
週3回以上朝食を抜く	116	4.5%	94	4.0%	107	4.7%	101	4.7%	94	4.7%
週3回以上夕食後間食	311	12.2%	246	10.4%	227	9.9%	228	10.7%	340	17.1%
週3回以上就寝前夕食	489	19.1%	466	19.7%	436	19.1%	383	17.9%	386	19.3%
食べる速度が速い	671	26.2%	606	25.6%	582	25.5%	535	25.0%	522	26.1%
20歳時から10kg以上増加	814	31.8%	747	31.6%	743	32.5%	655	30.6%	653	32.6%
1回30分以上運動習慣なし	1,995	78.0%	1,788	75.6%	1,619	70.9%	1,530	71.5%	1,362	68.0%
1日1時間以上運動なし	570	22.3%	538	22.7%	577	25.3%	392	18.3%	634	31.6%
睡眠不足	390	15.3%	385	16.3%	398	17.4%	373	17.5%	353	17.6%
毎日飲酒	820	32.1%	747	31.6%	726	31.8%	669	31.3%	629	31.4%

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合
喫煙	328	16.6%	303	16.8%	300	15.6%	280	15.5%
週3回以上朝食を抜く	93	4.7%	80	4.4%	95	4.9%	109	6.0%
毎日3食以外の間食	342	17.3%	316	17.5%	352	18.3%	332	18.8%
週3回以上就寝前夕食	412	20.9%	658	36.5%	601	31.2%	347	19.2%
食べる速度が速い	517	26.2%	451	25.0%	463	24.1%	448	24.7%
20歳時から10kg以上増加	668	33.9%	587	32.5%	613	31.8%	619	34.2%
1回30分以上運動習慣なし	1,319	66.9%	1,186	65.7%	1,299	67.5%	1,223	67.5%
1日1時間以上運動なし	631	32.0%	602	33.4%	659	34.2%	524	28.9%
睡眠不足	345	17.5%	290	16.1%	301	15.7%	362	20.0%
毎日飲酒	612	31.0%	593	32.9%	646	33.6%	613	33.8%

出典：国保データベースシステム

※特定健診の質問票様式が変更になったため、平成30年度から「週3回以上夕食後間食」の項目が「毎日3食以外の間食」に変わっている。

平成26年度から令和3年度にかけて1日1時間以上運動なしの割合は増加傾向にあったが令和4年度は28.9%と減少した。また、1回30分以上運動習慣なしの割合は減少傾向にある。喫煙者の割合は低下傾向にある一方、毎日飲酒する人の割合は増加傾向にある。

6. 国保被保険者1人あたり医療費の変化

国保被保険者1人あたり医療費の変化を、美郷町、同規模自治体、秋田県、全国で比較する。

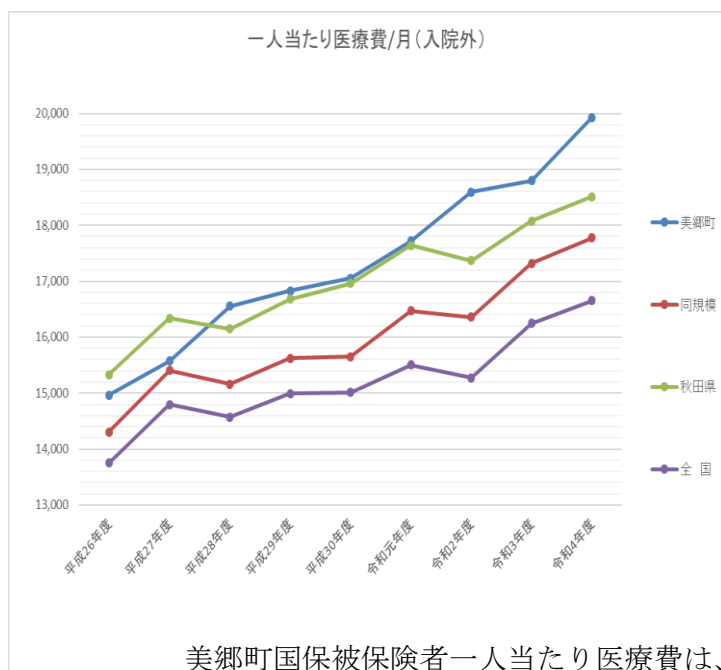
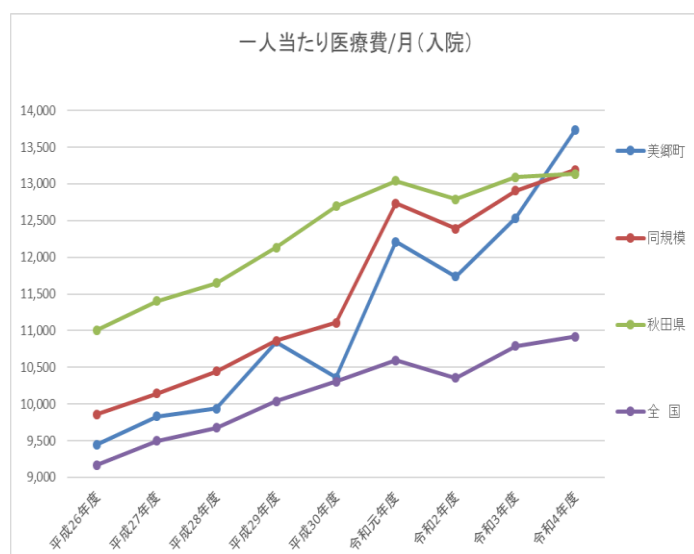
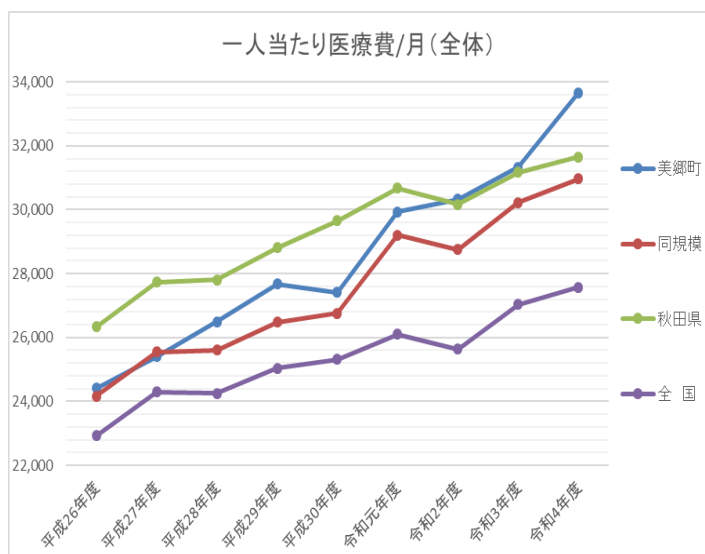
1人当たりの医療費(1ヶ月当たり)

※歯科は除く

年度	項目	一人あたり医療費/月(円)			伸び率(%)		
		全体	入院	入院外	全体	入院	入院外
平成26年度	美郷町	24,415	9,449	14,966	—	—	—
	同規模	24,170	9,861	14,309	—	—	—
	秋田県	26,339	11,010	15,329	—	—	—
	全 国	22,922	9,169	13,753	—	—	—
平成27年度	美郷町	25,404	9,831	15,573	4.1%	4.0%	4.1%
	同規模	25,546	10,142	15,404	5.7%	2.8%	7.7%
	秋田県	27,740	11,401	16,339	5.3%	3.6%	6.6%
	全 国	24,295	9,499	14,796	6.0%	3.6%	7.6%
平成28年度	美郷町	26,495	9,936	16,559	4.3%	1.1%	6.3%
	同規模	25,606	10,447	15,159	0.2%	3.0%	▲ 1.6%
	秋田県	27,799	11,648	16,151	0.2%	2.2%	▲ 1.2%
	全 国	24,245	9,674	14,571	▲ 0.2%	1.8%	▲ 1.5%
平成29年度	美郷町	27,674	10,848	16,826	4.4%	9.2%	1.6%
	同規模	26,487	10,860	15,627	3.4%	4.0%	3.1%
	秋田県	28,816	12,132	16,684	3.7%	4.2%	3.3%
	全 国	25,032	10,038	14,994	3.2%	3.8%	2.9%
平成30年度	美郷町	27,411	10,361	17,050	▲ 1.0%	▲ 4.5%	1.3%
	同規模	26,760	11,105	15,655	1.0%	2.3%	0.2%
	秋田県	29,658	12,694	16,964	2.9%	4.6%	1.7%
	全 国	25,319	10,305	15,014	1.1%	2.7%	0.1%
令和元年度	美郷町	29,928	12,211	17,717	9.2%	17.9%	3.9%
	同規模	29,201	12,732	16,469	9.1%	14.7%	5.2%
	秋田県	30,683	13,040	17,643	3.5%	2.7%	4.0%
	全 国	26,100	10,597	15,503	3.1%	2.8%	3.3%
令和2年度	美郷町	30,332	11,738	18,594	1.3%	▲ 3.9%	5.0%
	同規模	28,749	12,391	16,358	▲ 1.5%	▲ 2.7%	▲ 0.7%
	秋田県	30,160	12,788	17,372	▲ 1.7%	▲ 1.9%	▲ 1.5%
	全 国	25,629	10,354	15,275	▲ 1.8%	▲ 2.3%	▲ 1.5%
令和3年度	美郷町	31,328	12,531	18,797	3.3%	6.8%	1.1%
	同規模	30,227	12,907	17,320	5.1%	4.2%	5.9%
	秋田県	31,169	13,091	18,078	3.3%	2.4%	4.1%
	全 国	27,039	10,789	16,250	5.5%	4.2%	6.4%
令和4年度	美郷町	33,665	13,735	19,930	7.5%	9.6%	6.0%
	同規模	30,968	13,192	17,776	2.5%	2.2%	2.6%
	秋田県	31,645	13,133	18,512	1.5%	0.3%	2.4%
	全 国	27,570	10,918	16,652	2.0%	1.2%	2.5%

出典：国保データベースシステム

また、次の図は前項の一人当たり医療費の推移をグラフにしたものである。



出典：国保データベースシステム

美郷町国保被保険者一人当たり医療費は、毎年4%ほど上昇していたが、平成30年度は減少した。しかし、令和元年度の一人当たり医療費は大きく増加し、毎年4%ほどの増加ペースに戻っている。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、全国・秋田県・同規模ともに一人当たり医療費（入院）・（入院外）は減少している。しかし、美郷町においては、一人当たり医療費（入院）は減少しているものの、一人当たり医療費（入院外）が上昇しており、全体として1.3%増加した。

令和3年度以降は、新型コロナウイルス感染症による受診控えの反動もあり、美郷町・秋田県・同規模・国ともに医療費が増加する結果となった。

次の表は、美郷町国保の総医療費の推移を示したものである。

年 度	総医療費(円)					
	全体		入院		入院外	
	費用額	増減	費用額	増減	費用額	増減
平成26年度	1,745,665,820	—	675,685,150	—	1,069,980,670	—
平成27年度	1,679,437,840	▲ 3.8%	649,317,160	▲ 3.9%	1,030,120,680	▲ 3.7%
平成28年度	1,644,945,220	▲ 2.1%	616,951,880	▲ 5.0%	1,027,993,340	▲ 0.2%
平成29年度	1,626,468,770	▲ 1.1%	638,264,870	3.5%	988,203,900	▲ 3.9%
平成30年度	1,537,686,290	▲ 5.5%	581,706,730	▲ 8.9%	955,979,560	▲ 3.3%
令和元年度	1,597,521,480	3.9%	652,260,500	12.1%	945,260,980	▲ 1.1%
令和2年度	1,591,696,650	▲ 0.4%	616,177,880	▲ 5.5%	975,518,770	3.2%
令和3年度	1,606,328,550	0.9%	641,901,010	4.2%	964,427,540	▲ 1.1%
令和4年度	1,646,058,850	2.5%	672,308,250	4.7%	973,750,600	1.0%

※歯科除く

※増減はそれぞれ前年比

平成26年度から平成30年度にかけて総医療費は減少傾向にあったが、令和元年度には増加した。入院医療費が大きく伸びたのが要因である。令和2年度には再び減少となったが、令和3年度以降は増加した。平成26年度と令和4年度の総医療費（全体）を比較すると、5.7%の減少となっている。

これに対し、平成26年度から令和4年度の被保険者数は31.6%減少している。このため、一人当たり医療費は増加傾向にある。

7. 高額な医療費がかかった人数と件数

高額な医療費がかかった人数・件数を分析する。ここでは、1ヵ月に100万円以上の医療費がかかった診療報酬明細書（レセプト）を抽出して分析する。

対象レセプト (平成26年度-令和4年度)		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
被保険者数(人)		5,739	5,284	4,997	4,749	4,506	4,351	4,330	4,162	3,924	
高額になる疾患 (100万円以上レセプト)	人数	120人	104人	114人	117人	100人	117人	121人	131人	134人	
	件数	174件	160件	185件	196件	175件	205件	210件	222件	227件	
	年代別	40歳未満	8 4.6%	4 2.5%	7 3.8%	12 6.1%	2 1.1%	14 6.8%	9 4.3%	5 2.3%	1 0.5%
		40代	8 4.6%	2 1.3%	8 4.3%	11 5.6%	22 12.6%	11 5.4%	19 9.0%	21 9.5%	19 8.6%
		50代	33 19.0%	31 19.4%	26 14.1%	26 13.3%	17 9.7%	25 12.2%	27 12.9%	33 14.9%	26 11.7%
		60代	81 46.6%	78 48.8%	85 45.9%	96 49.0%	82 46.9%	97 47.3%	91 43.3%	78 35.1%	77 34.7%
70-74歳		44 25.3%	45 28.1%	59 31.9%	51 26.0%	52 29.7%	58 28.3%	64 30.5%	85 38.3%	104 46.8%	
費用額	2億7,501万円	2億6,596万円	2億8,965万円	3億0,096万円	2億5,474万円	3億3,568万円	3億2,609万円	3億2,815万円	3億4,307万円		

※最大医療資源傷病名(主病)で計上

出典：国保データベースシステム

平成26年度～平成30年度は、100万円以上の医療費がかかったレセプトは200件未満であったが、令和元年度には200件を超え、その後も増加傾向にある。令和3年度も被保険者数は減少しているが、100万円以上のレセプト件数・人数ともに増加している。

どのような疾患により高額な医療費がかかっているのか、令和4年度のレセプトを分析すると、がんが85件、脳血管疾患が8件、虚血性心疾患が5件となっている。高額な医療費がかかる疾患では、がんが大きな割合を占めていることがわかる。

※診療報酬明細書（レセプト）とは、医療機関が保険者に請求する月ごとの医療費の明細書のこと。

8. 6 ヶ月以上の長期入院を分析

平成 26 年度～令和 4 年度の 6 ヶ月以上入院している診療報酬明細書（レセプト）を分析する。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人数	32人	29人	34人	31人	29人	29人	23人	28人	28人
(うち精神疾患)	25人(78.1%)	19人(65.5%)	26人(76.5%)	23人(74.2%)	18人(62.1%)	15人(51.7%)	13人(56.5%)	15人(53.6%)	13人(46.4%)
件数	286件	256件	278件	240件	247件	242件	193件	218件	221件
(うち精神疾患)	206件(72.0%)	181件(70.7%)	215件(77.3%)	177件(73.8%)	142件(57.5%)	123件(50.8%)	96件(49.7%)	106件(48.6%)	103件(46.6%)
費用額	1億2,151万円	1億1,943万円	1億3,796万円	1億2,078万円	1億3,958万円	1億3,473万円	1億320万円	1億2,287万円	1億2,827万円
(うち精神疾患)	7,365万円	6,840万円	8,354万円	6,964万円	5,898万円	5,308万円	4,016万円	4,444万円	4,196万円

出典：国保データベースシステム

平成 26 年度～令和 4 年度の長期入院レセプトを分析すると、精神疾患で長期入院している人が多く、人数、件数、費用額で大きな割合を占めている。しかし、その割合は年々減少傾向にある。

9. 特定健診受診の有無と生活習慣病治療費

特定健診受診者と未受診者の、1人あたり生活習慣病医療費（1 ヶ月間）を比較する。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
①健診受診者の生活習慣病治療費	5,969	5,934	6,725	6,187	6,227	6,050	5,479	6,004	5,451
②健診未受診者の生活習慣病治療費	7,909	8,480	8,163	8,986	9,045	9,673	10,758	10,507	12,315
①-②	▲ 1,940	▲ 2,546	▲ 1,438	▲ 2,799	▲ 2,818	▲ 3,623	▲ 5,279	▲ 4,503	▲ 6,864

出典：国保データベースシステム

平成 26 年度から令和 4 年度を通じて、特定健診受診者の生活習慣病治療費は未受診者の生活習慣病治療費より低くなっている。

10. 特定健診未受診かつ医療機関未受診者の把握

特定健診未受診者の状況を分析する。下記の表は、特定健診未受診かつ医療機関未受診者の人数と、特定健診対象者に占める割合を示したものである。

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
特定健診 未受診 かつ 医療機関 未受診者 の人数	40～64歳	418	381	345	342	327	284	282	212	214
	65～74歳	125	124	145	149	164	165	187	158	150
	計	543	505	490	491	491	449	469	370	364
特定健診対象者に占める割合		13.1%	13.0%	13.2%	13.6%	14.0%	13.4%	13.9%	11.4%	12.1%

出典：国保データベースシステム

特定健診未受診かつ医療機関を受診していない人数は、被保険者数の減少に伴って減少傾向にある。平成26年度～令和2年度を通じて、40～64歳の対象者は減少する一方で、65～74歳の対象者は増加傾向にあった。しかし、令和3年度に65歳～74歳の対象者も大きく減少し、令和4年度も更に減少している。

特定健診未受診かつ医療機関を受診していない方は、診療報酬明細書（レセプト）、特定健診の情報がないため健康状態の把握が困難である。そのため、特定健診受診勧奨を行い、健康状態を把握することが重要になると思われる。